

2019年3月期 決算説明
新中期経営計画 発表

2019. 6. 10

 **カーリットホールディングス株式会社**

CODE : 4275

- 2019年3月期 決算概要
- 前中期経営計画「礎 1 0 0」の振り返り
- 2019年度～2021年度 新中期経営計画
- 2020年3月期 業績予想
- 新中期経営計画 研究開発

2019年3月期 決算概要

代表取締役社長 廣橋 賢一

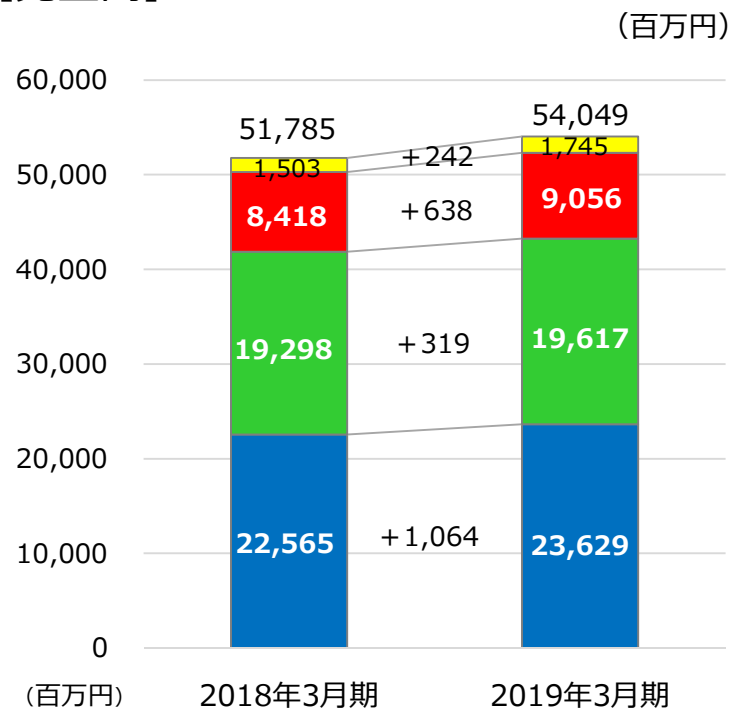
(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	差 異 増減率	2019年3月期 計画
売上高	51,785	54,049	+2,263 +4.4%	54,000
売上原価	43,458	45,287	+1,828 +4.2%	
販売費及び一般管理費	6,298	6,432	+134 +2.1%	
営業利益	2,028	2,328	+299 +14.8%	2,400
経常利益	2,176	2,551	+375 +17.2%	2,500
当期純利益	1,506	1,579	+73 +4.8%	1,500

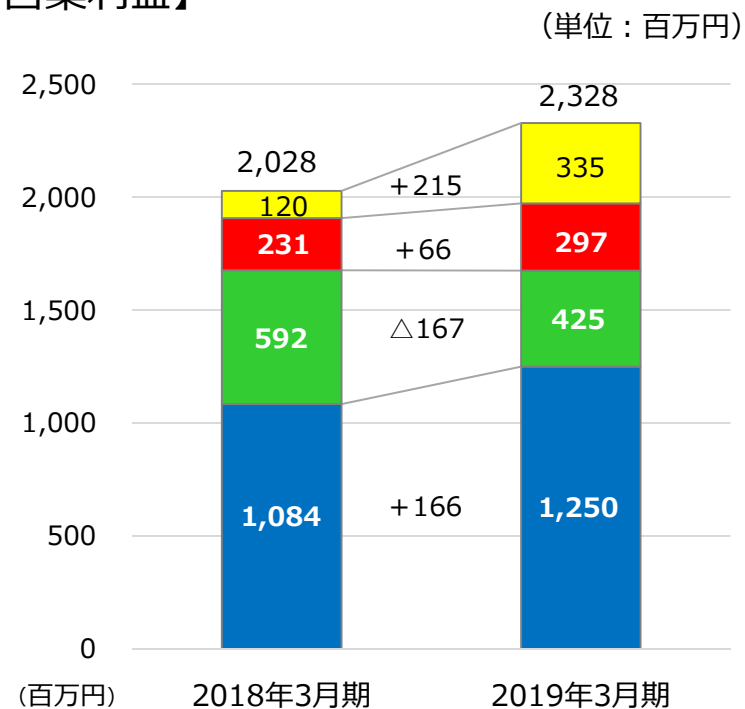
- 化学品 ⇒ 化薬分野、受託評価分野、セラミック材料分野 = 増収増益
化成品分野 = 横ばい増益 電子材料分野 = 減収減益 広桃水力発電所再稼働
- ボトリング ⇒ 茶系飲料 = 増販 コスト増加
- 産業用部材 ⇒ シリコンウェーハ、耐火・耐熱金物 = 増収増益
- その他 ⇒ 富士商事、総合設計 = 増収増益 コスト削減

※ 第3四半期までは好調に推移するも米中貿易摩擦の影響により第4四半期で急激な減速

【売上高】



【営業利益】



前中期経営計画（2015年度～2018年度）

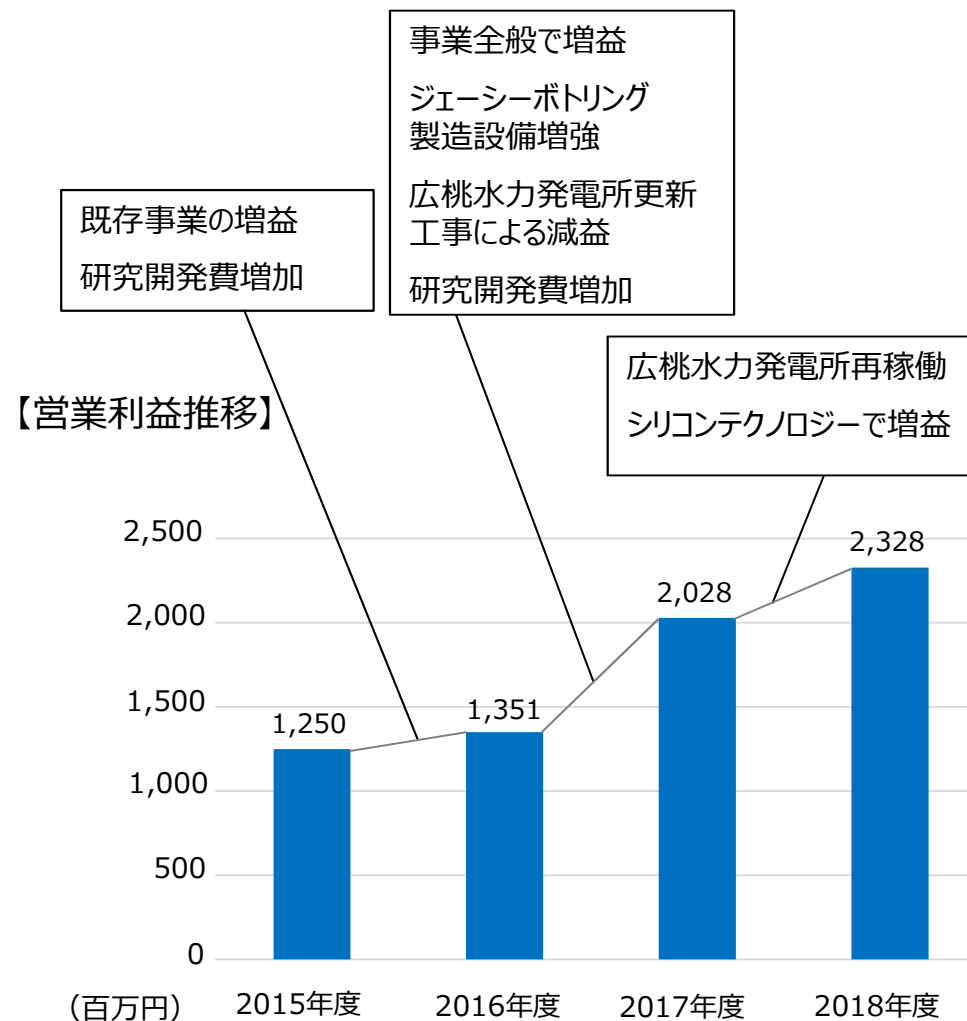
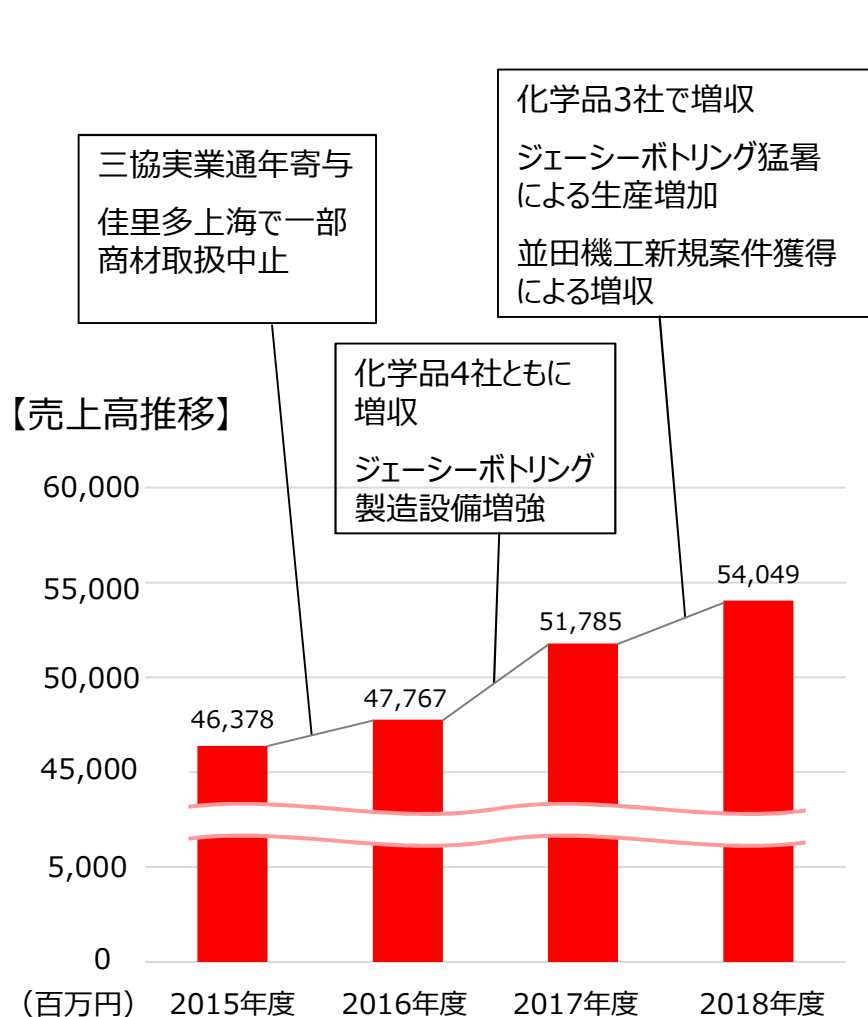
「礎100」の振り返り

【テーマ】

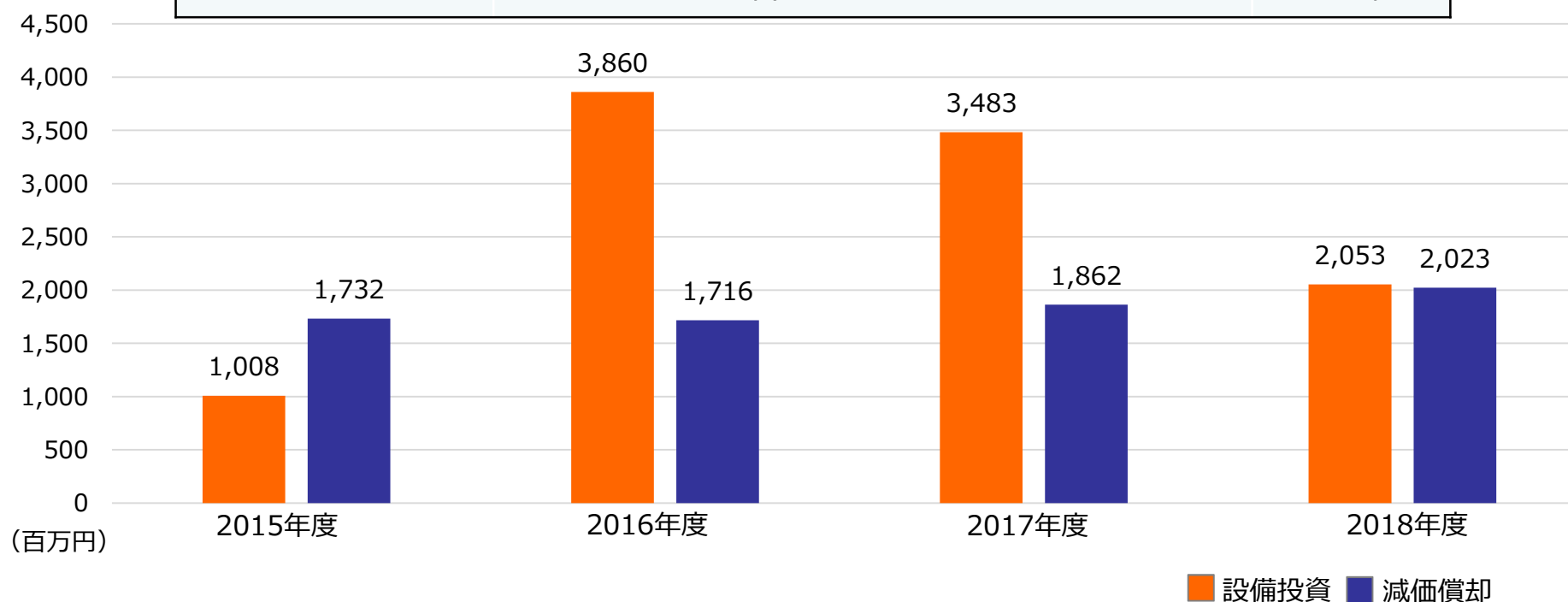
創業100周年を迎え、次の100年を目指すに当たっての事業基盤の確立

【重点施策の総括】

重点施策	実 積	新中計での対応策
新規事業・新規商品の創出	マーケティング・オープンイノベーション不足などにより立ち遅れ	研究開発体制強化
海外売上の拡大	佳里多上海の拡販はあったものの、既存製品の拡販・ベトナム生産拠点難航	ASEAN事業推進室を設置
既存事業における収益性の向上	3つのセグメントにわたり、売上・利益ともに好調 価格改定・不採算品目からの撤退・自社生産品へのシフトなどを実施	継続して注力
H D体制でのグループ経営の強化	事業会社統合、グループ横断経営管理体制の構築、ガバナンス委員会設置、コーポレートガバナンスガイドライン制定など	継続して注力



化学品	広桃水力発電所更新工事 発炎筒製造設備新設	23億円 3億円
ボトリング	ペットボトル飲料製造ライン設備増強工事	12億円
産業用部材	東洋発條工業新工場取得	4億円
開発	開発費用・推進薬研究施設	26億円
その他	設備更新・生産効率向上・修繕投資等	36億円
	合計	104億円



【コーポレートガバナンス体制の強化】

- ガバナンス委員会設置
- コーポレートガバナンスガイドライン制定
- リスクアセスメント委員会設置
- コンプライアンス推進会議設置

【マテリアリティの特定】

「モノづくり」を通じた「社会」と「会社」の持続性ある相互成長の実現を目指し、ステークホルダーにとって、自社にとって、環境・社会にとっての重要性という3つの視点から、4つの「マテリアリティ」を特定

- 安心・安全で生き活きとした職場環境
- 信頼性・透明性・収益性のある経営基盤の強化
- 地域社会との共生
- 豊かな社会創造への貢献

2019年度～2021年度
新中期経営計画

カーリットグループ
2019年度～2021年度
新中期経営計画

ワクワク21
(湧わく)

メーカーとして「ワクワク」する製品づくり

社員が「ワクワク」して働ける職場づくり

利益指向で事業の**足場固め**を積み重ね、

新たな取り組みに向けた経営資源投入を推進

社会の課題

先進国での少子高齢化、AI・IoT、自動運転、環境・エネルギー
水・食糧・衛生・医療、SDG s



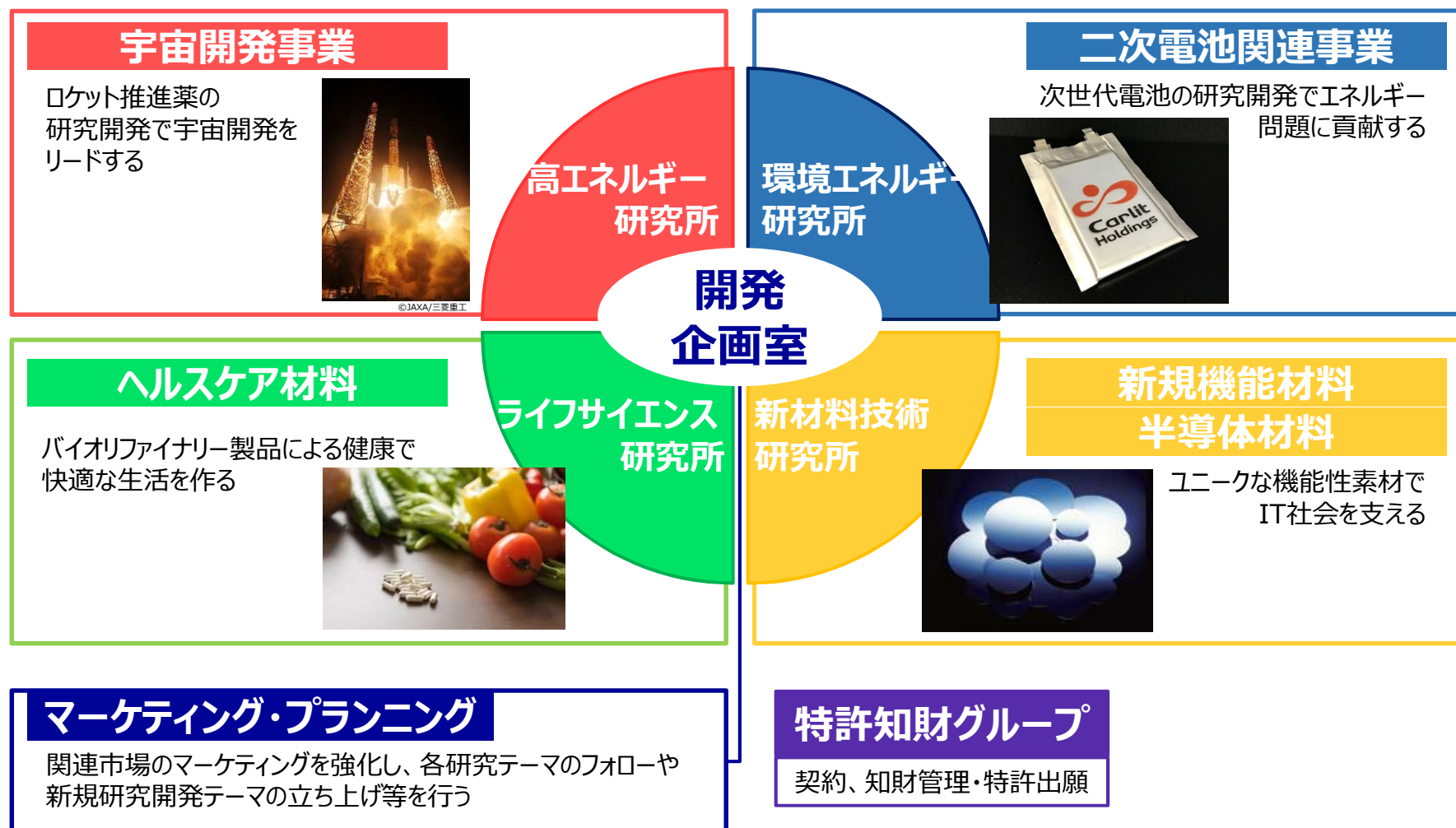
新たな取り組み

研究開発・新規事業 ⇒新製品の早期上市に向けた体制強化
M & A ⇒伸長分野に向け積極的に投資
海外事業 ⇒ASEANを中心とした海外市場への積極的な展開



足場固め

既存・周辺事業の基盤強化



2021年度（2022年3月期） 数値目標

売上高

650億円

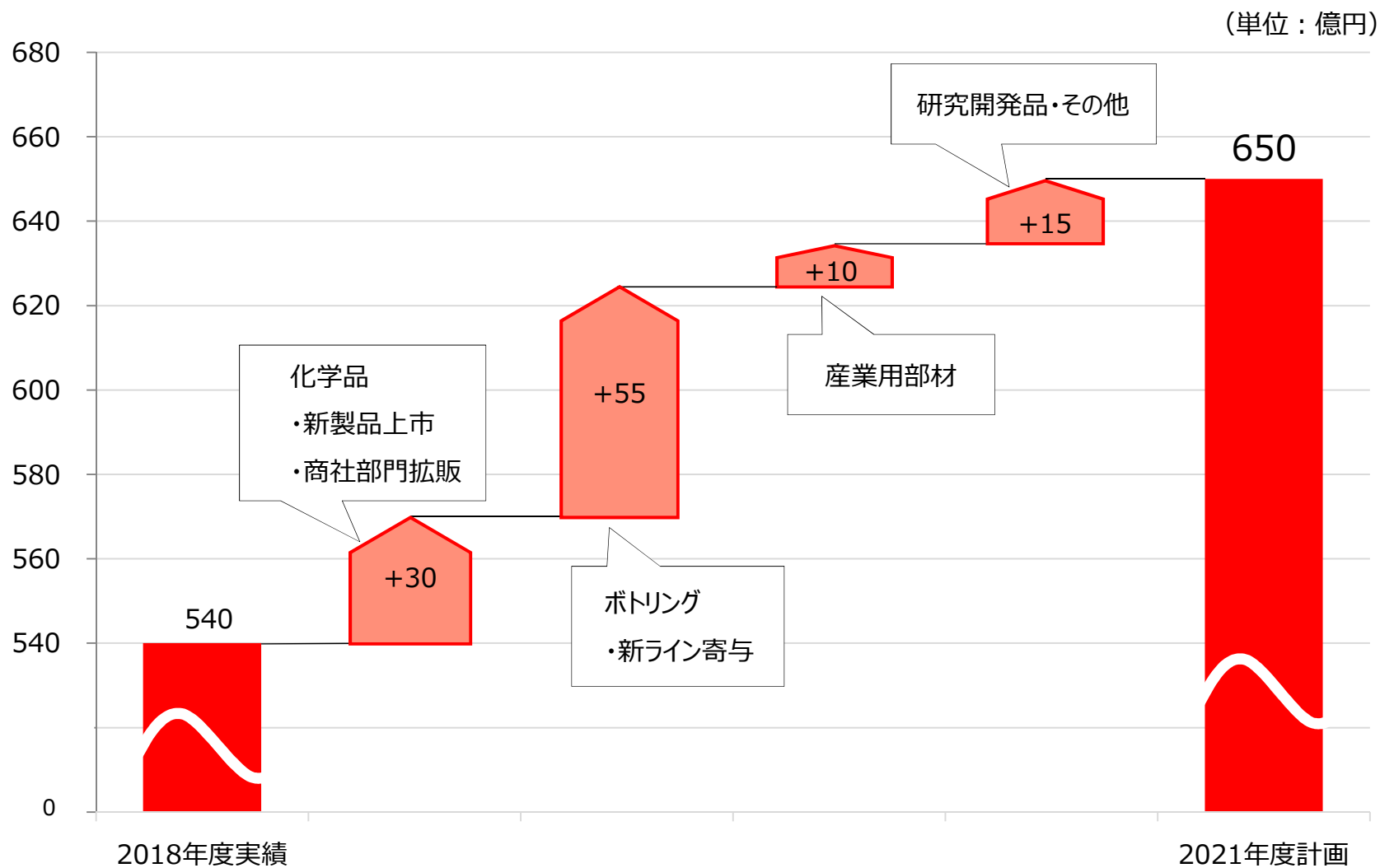
営業利益

30億円

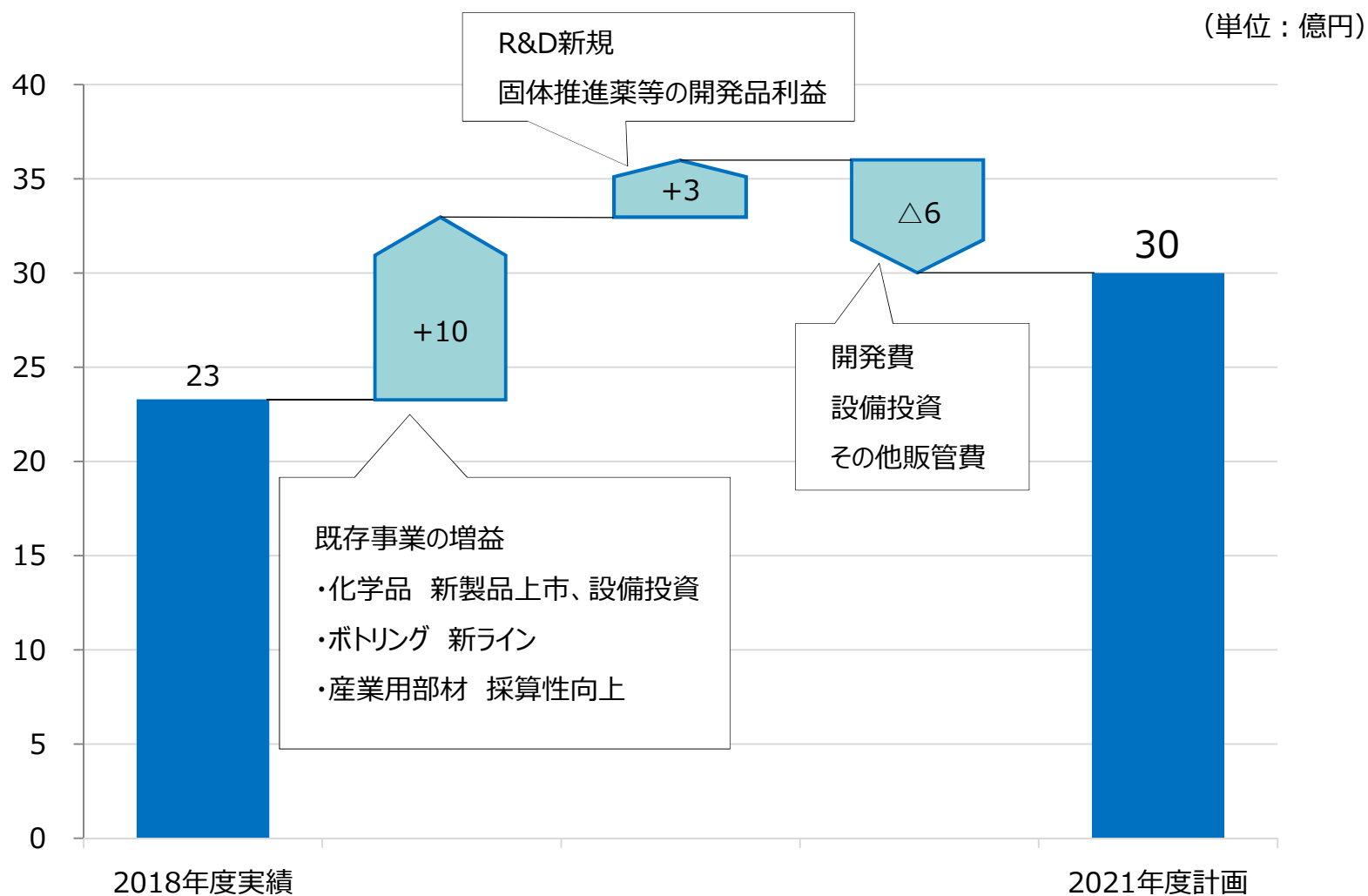
ROE

8%

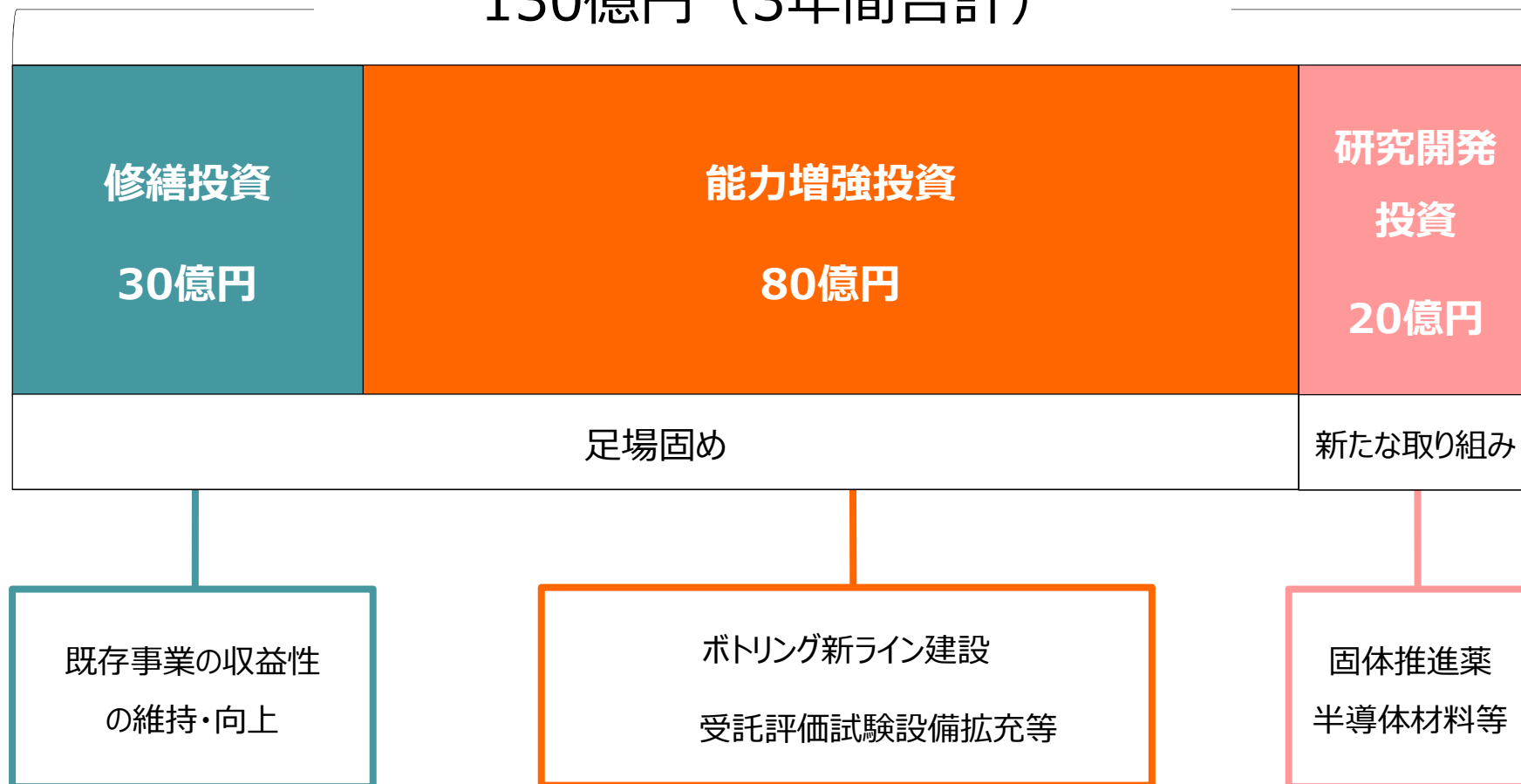
※現在の会計基準に基づくものであり、今後の会計基準の変更により数値の変動が見込まれます



※現在の会計基準に基づくものであり、今後の会計基準の変更により数値の変動が見込まれます



130億円（3年間合計）



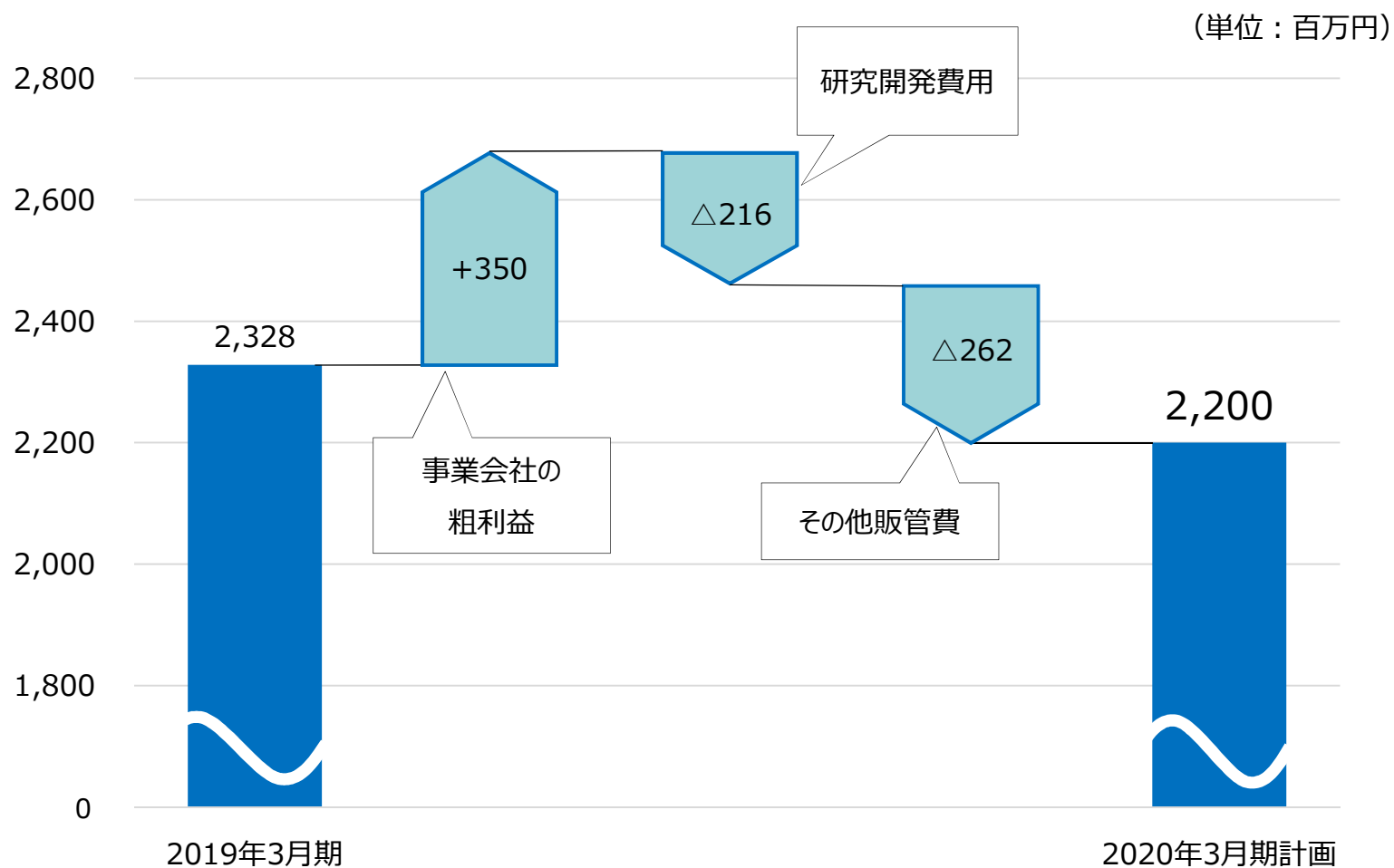
「ワクワク21」 初年度
2020年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	差 異 増減率
売上高	54,049	54,000	△49 △0.1%
営業利益	2,328	2,200	△128 △5.5%
経常利益	2,551	2,350	△201 △7.9%
当期純利益	1,579	1,600	+21 +1.3%
配当（1株あたり）	12円	12円	

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	差異	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	差異
化学品	23,629	23,500	△129	1,250	1,250	±0
ボトリング	19,617	19,500	△117	425	500	+75
産業用部材	9,056	8,900	△156	297	100	△197
報告セグメント計	52,303	51,900	△403	1,972	1,850	△122
連結合計	54,049	54,000	△49	2,328	2,200	△128



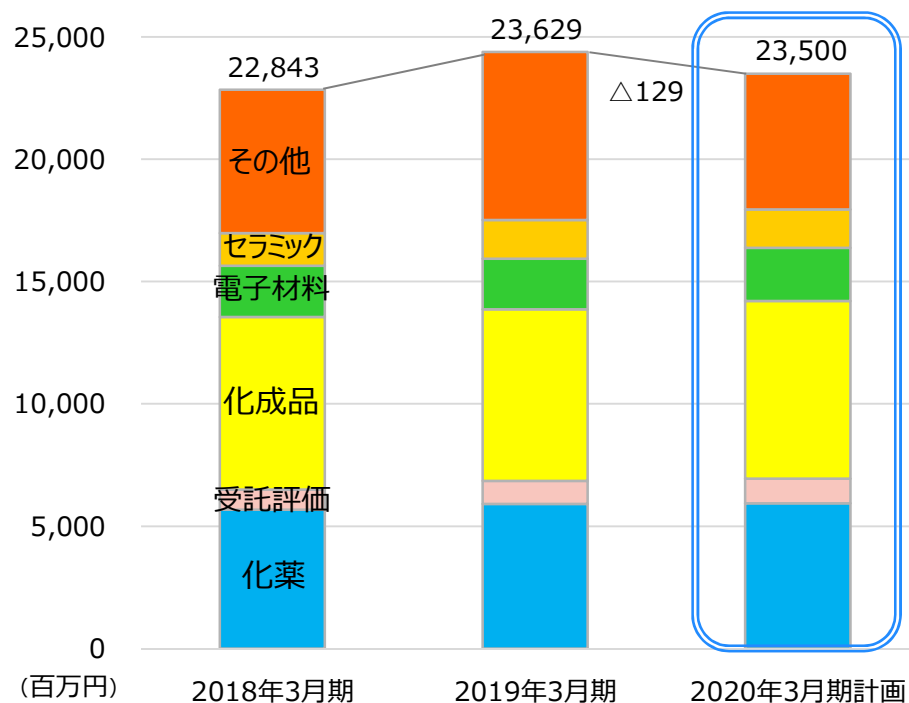
セグメント別

<化学品事業>

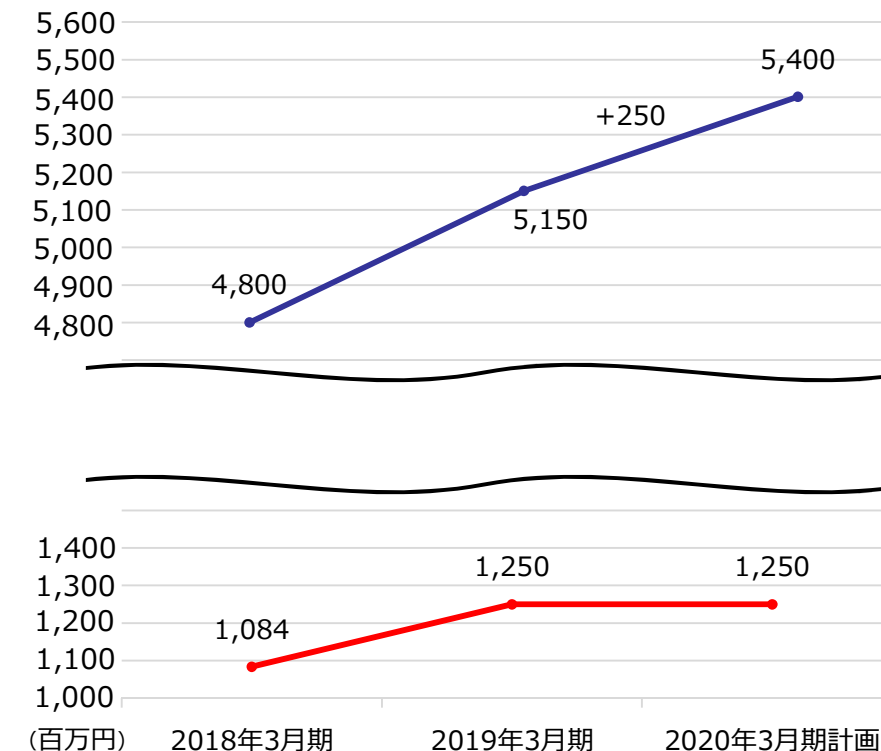




分野	主要製品	売上変動要因	状況・施策	売上高
化薬	自動車用緊急保安炎筒	国内自動車販売台数 車検台数	車検台数増加 ガラス破壊機能付きへの交換を促進	➡
受託評価	危険性評価試験 電池充放電試験	リチウムイオン電池需要 顧客の開発状況	高い稼働率を維持 試験設備拡充	➡
その他	三協実業 (合成樹脂原料商社)	ポリスチレン需要 原料価格	原油価格が上期は大幅下落、 下期は緩やかに上昇を見込む	➡

【売上高】

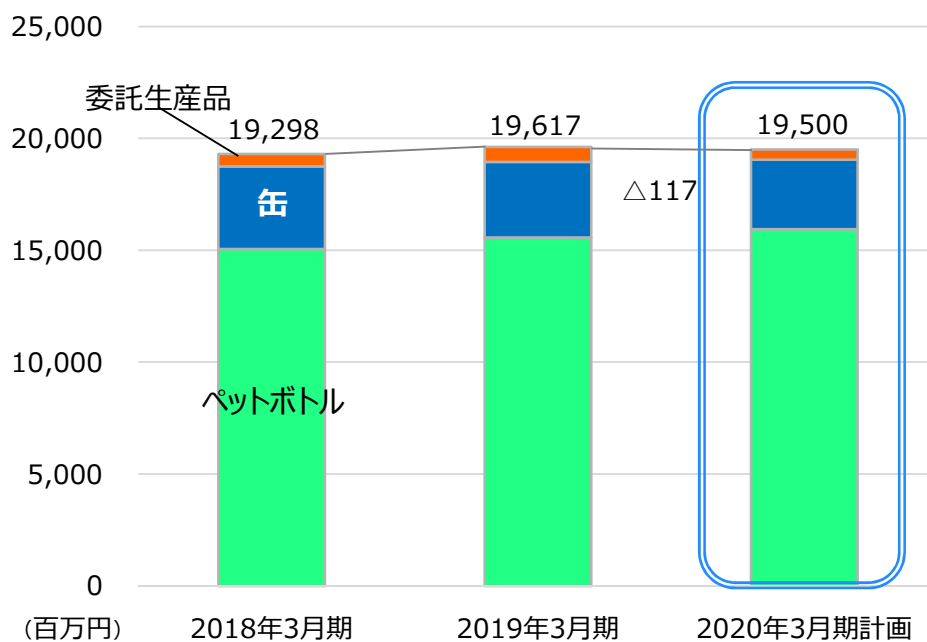


【営業利益 粗利益】

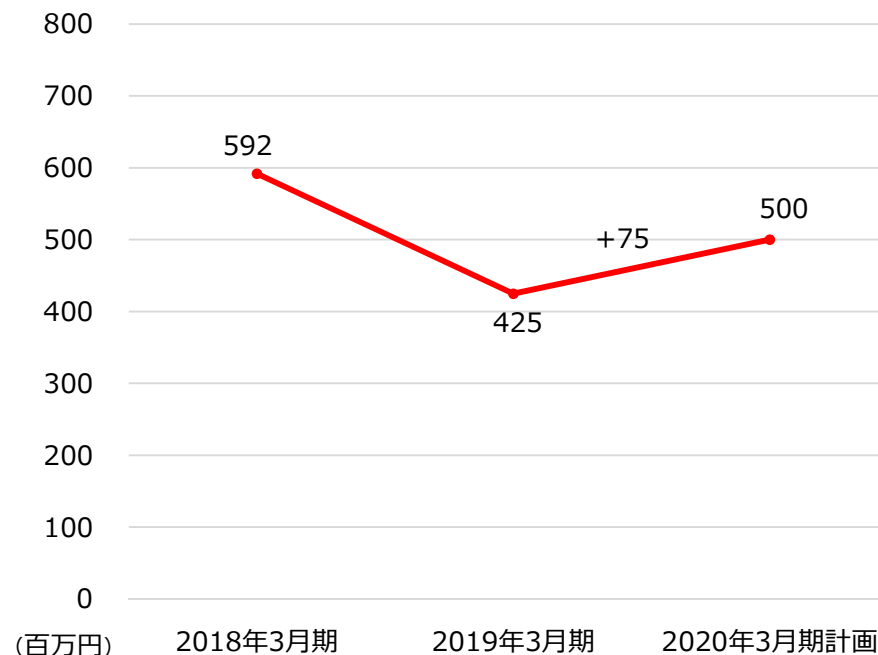





製 品	売上変動要因	状況・施策	売上高
ペットボトル製品	生産能力 夏季の気温	堅調維持	
缶製品	コンビニコーヒーの拡販 ボトルコーヒーの普及	漸減	

【売上高】

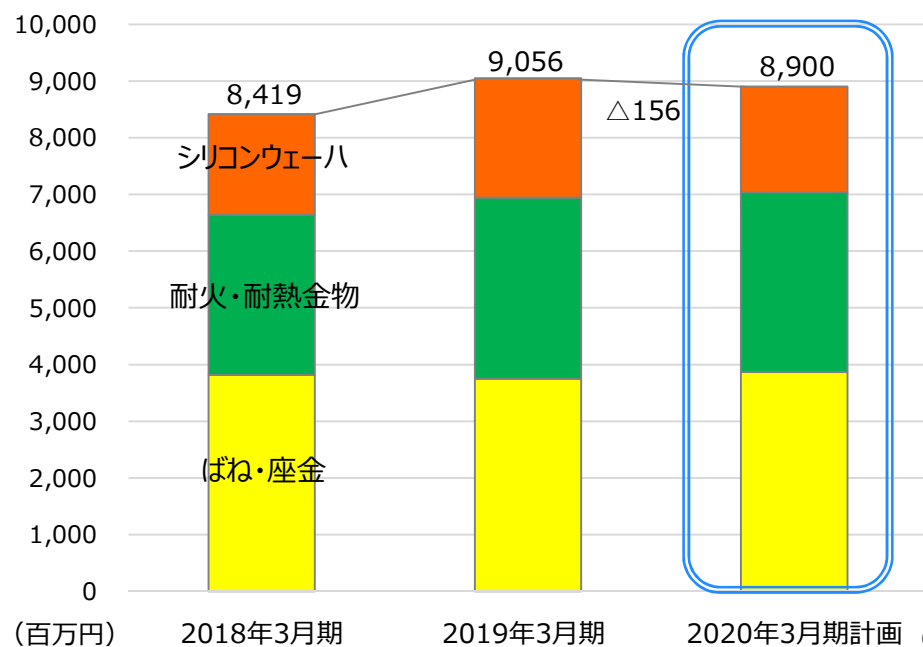


【営業利益】

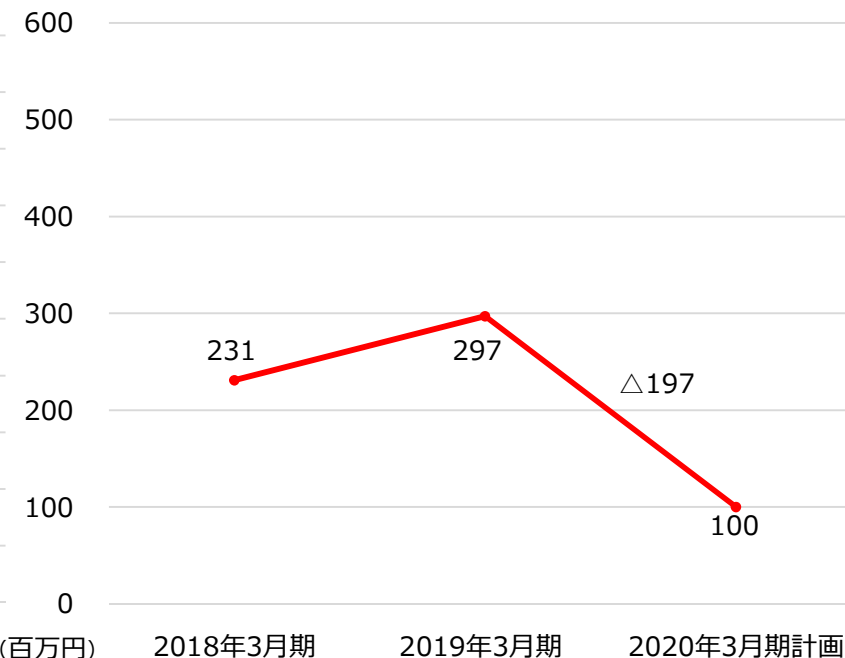


製品	売上変動要因	状況・施策	売上高
シリコンウェーハ (シリコンテクノロジー)	半導体市場	米中貿易摩擦の激化による影響で上期は減速継続 下期の回復を見込む	
耐火・耐熱金物製品 (並田機工)	炉(焼却・製鉄・セメント)の新規・ 定期修繕動向	不採算事業の見直し	
ばね・座金製品 (東洋発條工業)	建機・自動車の生産台数	建機業界に陰り 構造改革促進(不採算品目の価格改定など)	

【売上高】



【営業利益】

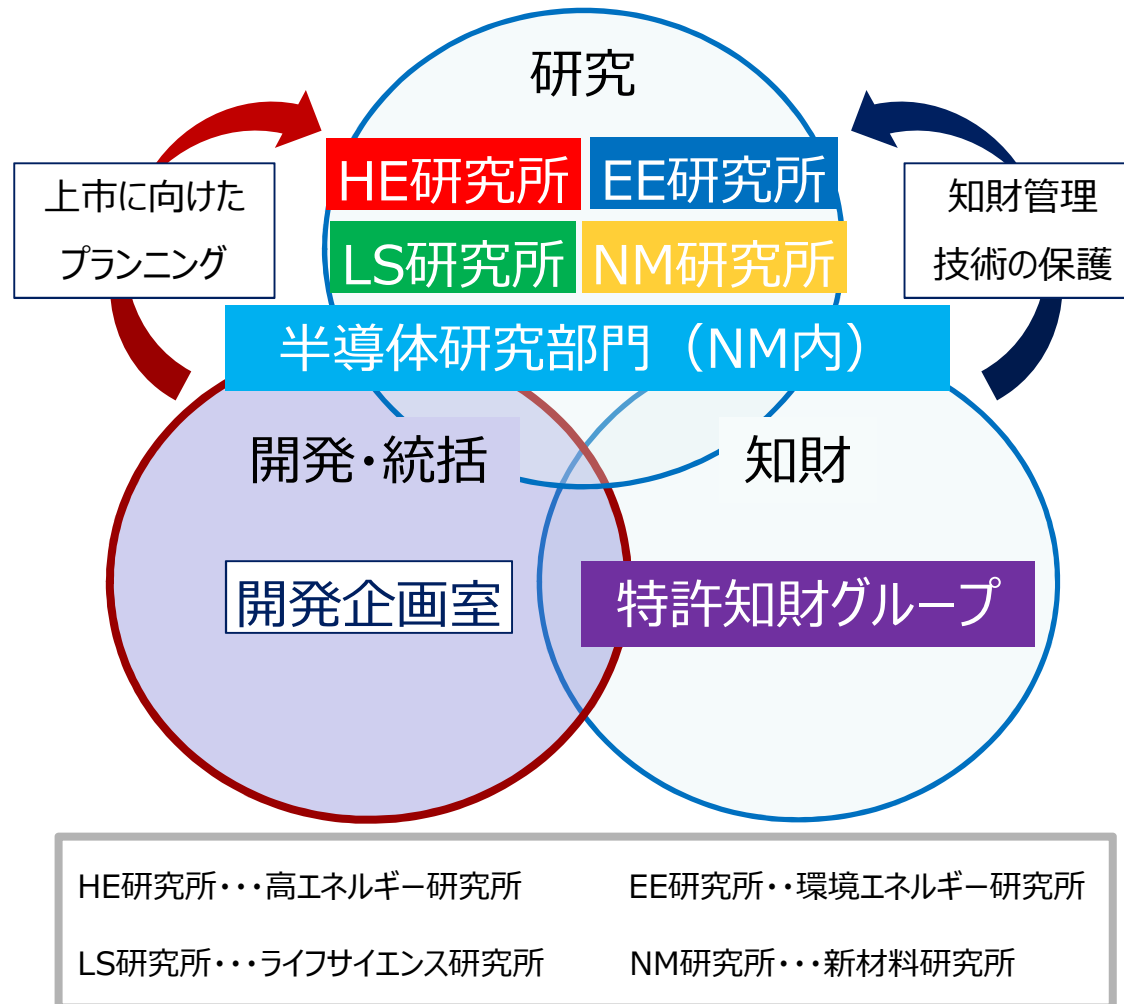


新中期経営計画

研究開発

R & Dセンター長 宮下 直人

新たな体制で連携し、研究開発を強化



研究分野

ロケット・推進薬

二次電池関連

クリーンエネルギー・水素関連

環境関連

化粧品・健康食品材料

自動運転・IoT材料

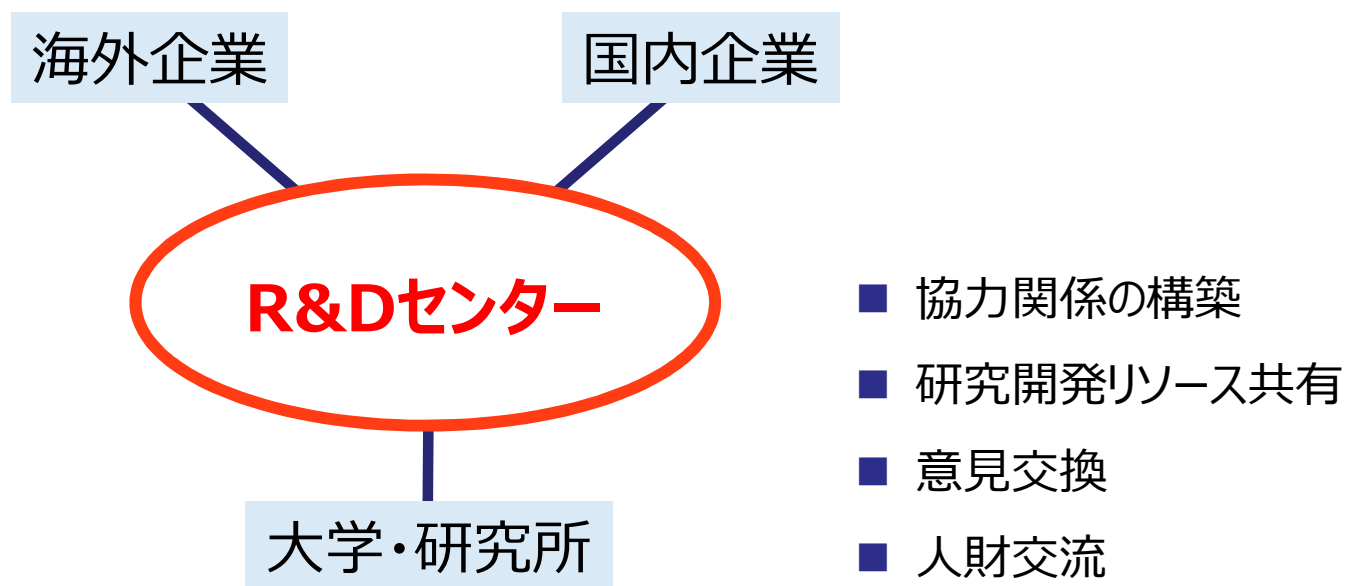
半導体材料

HE研究所・・・高エネルギー研究所

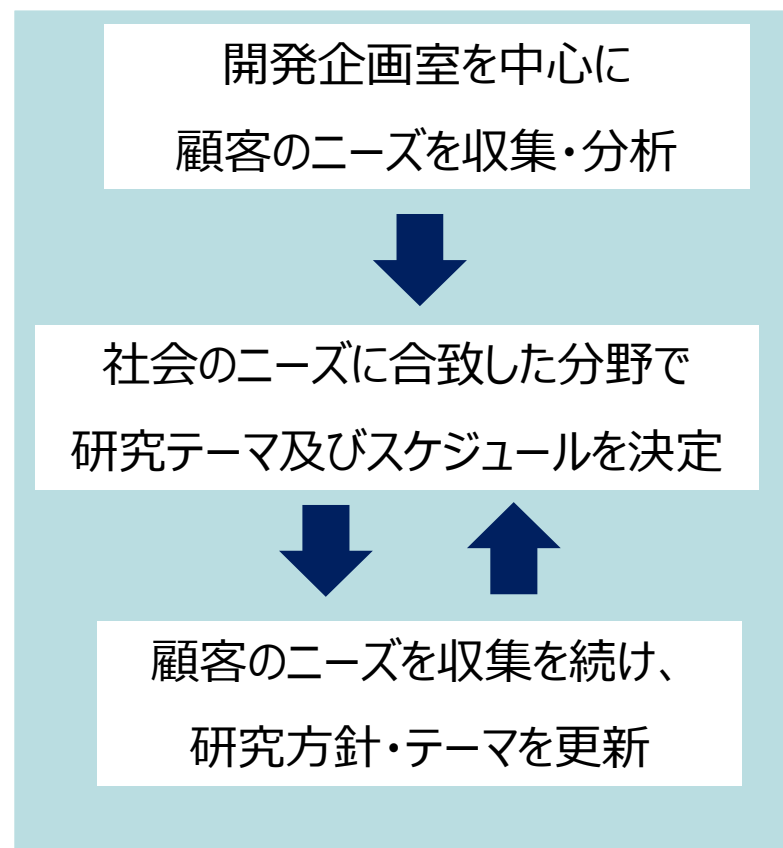
EE研究所・・・環境エネルギー研究所

LS研究所・・・ライフサイエンス研究所

NM研究所・・・新材料研究所

オープンイノベーションの活用

- ①外部リソース利用による開発スパン短縮
- ②研究員が最先端技術を習得し事業へ繋げる



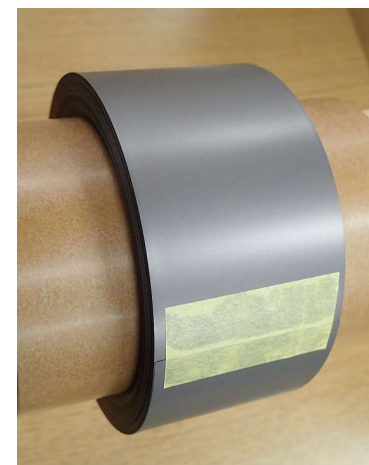
ニーズと研究方針を常に合致させる

電池部材評価技術



電池セル

- 電池部材をセルに加工する技術の開発
- 電池部材メーカーを広くターゲットに



電極シート

【開発品・技術】

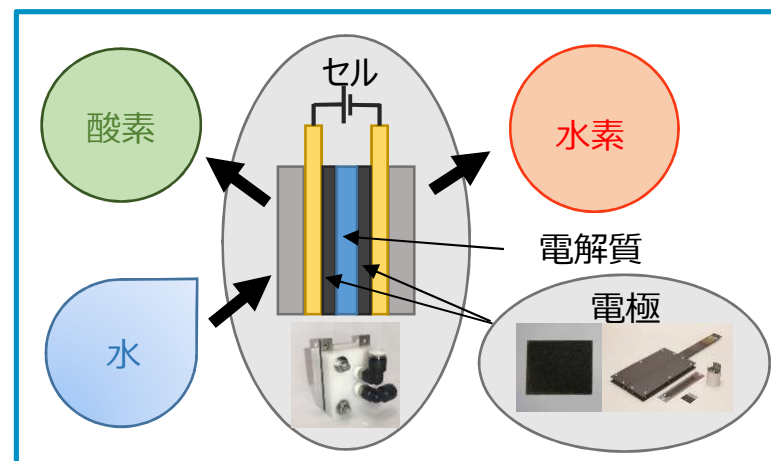
- セル設計技術
- 電極開発技術
- 電解液開発技術

電極技術を元に電池部材メーカーへの解決提案

高効率・小型水素発生セルの開発



小型水素発生セル



小型水素発生セル構造

- 電気分解式小型水素発生セルの開発
- 水素発生デバイスへの応用
(工業洗浄用途)

【開発品・技術】

- 高純度・高効率・小型水素発生セル
- 水電解専用電極
- 水素ガス応用デバイス

工業用途を中心にオンサイト水素供給

農作副産物の加工



植物由来成分

- 地域に根差した研究開発
- 農産物、特産品を最大限利用
- 副産物利用でクリーンな社会づくりに貢献

【開発品・技術】

- 植物由来水溶性成分
- 植物由来油溶性成分
- 酵素処理・化学合成品

地球環境に優しく、オリジナリティの高い製品開発

天然物抽出技術



- 植物に含まれる有効成分の抽出・加工
- 環境・安全性を意識した製品の開発
- 化粧品、健康食品原料用途を想定



化粧品原料配合例（ハンドクリーム）

【開発品・技術】

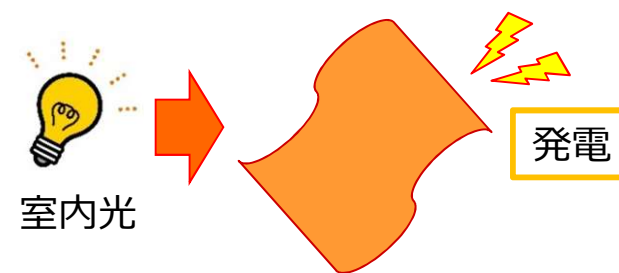
- 溶解性制御技術
- 安定化技術
- 植物成分抽出

酵素 + 合成で植物由来成分を多彩に加工

有機太陽電池用電解液の開発



有機太陽電池用電解液



有機太陽電池の特長

- 有機（色素増感）太陽電池用電解液の開発
- 室内光で発電できる特長
- 全てのモノに電源が必要になるIoT社会を想定

【開発品・技術】

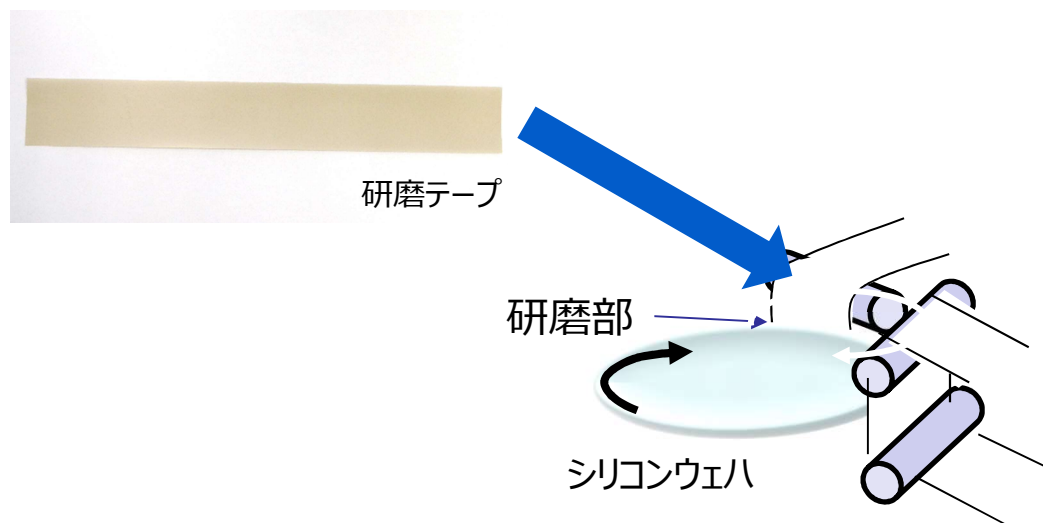
- 有機太陽電池用電解液
- 遠赤外線カメラ用レンズ材料

IoT時代に向けた電源問題への解決提案

半導体製造用研磨剤分散液開発



研磨剤分散液



【開発品・技術】

- 研磨剤微粒子分散液の開発
- 粒度制御技術開発
- 半導体製造に不可欠な要素

- 微粒子分散技術
- 粒度制御技術
- 高性能研磨剤分散液

半導体製造に不可欠な周辺技術の開発

固体推進薬開発



燃焼試験の様子

- ロケット発射に用いられる固体推進薬の開発
- 汎用素材を用いた低コスト化
- 民間企業による宇宙開発に照準

【開発品・技術】

- 汎用素材使用固体推進薬
- 液体推進薬
- 推進薬用点火具

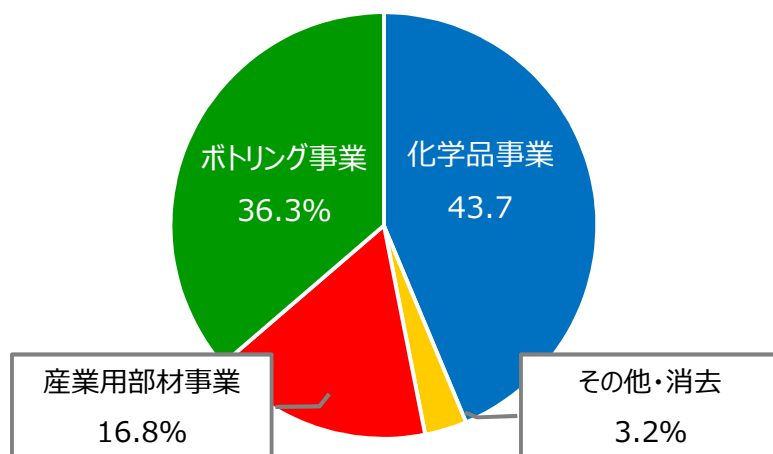
推進薬から宇宙関連事業への展開を目指す

質疑応答

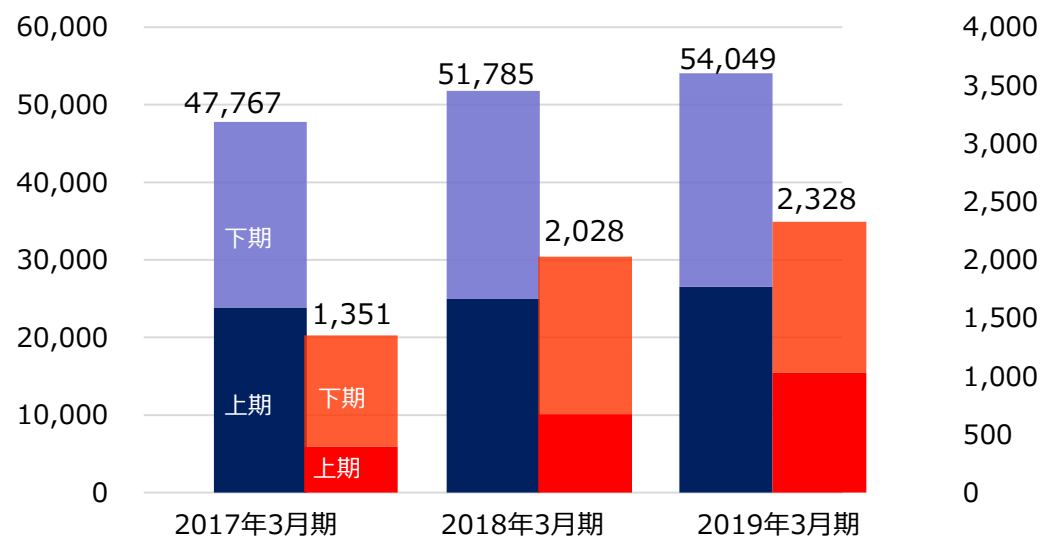
本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 廣橋 賢一
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,098名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単元100株)	単元株主数	26,630名

(2019年3月31日時点)

<2019年3月期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>



(単位：百万円)

	2018年 3月31日	2019年 3月31日	差異		2018年 3月31日	2019年 3月31日	差異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	4,316	4,357	40	支払手形及び買掛金	8,092	7,354	△737
受取手形及び売掛金	13,674	13,428	△246	有利子負債	9,565	10,557	992
棚卸資産	4,215	4,591	376	その他負債	10,861	9,048	△1,813
その他流動資産	735	842	107	負債合計	28,519	26,960	△1,559
有形固定資産	21,453	21,245	△207	純資産の部			
無形固定資産	337	145	△191	株主資本	21,908	23,197	1,289
投資その他の資産	9,474	9,101	△373	その他の包括利益 累計額等	3,780	3,555	△225
				純資産合計	25,688	26,752	1,063
資産合計	54,208	53,712	△495	負債純資産合計	54,208	53,712	△495

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,880	2,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,633	△1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,155	△953
現金及び現金同等物の増減額	91	63
現金及び現金同等物の期末残高	4,222	4,286

IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報部

電話：03-6893-7060
メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2019年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。